

外環の道



川井敏久
松戸市長

特集
外環国道部 国道6号～市川松戸線間
3月22日16時 いよいよ開通！

外環（千葉県区間）のうち、国道6号から県道市川松戸線までの一般部（国道298号）延長約1kmが2車線で開通します。今回の開通は、構造変更した区間としては初めての開通となります。

外環いよいよ千葉へ！歴史的な開通です



直進すれば市川松戸線に
外環を埼玉方面から来るところの分岐に。直進（右方向）に進むと、市川松戸線に出られます。左方向へ進むと、従来通り国道6号へ出られます。また、今回の開通に伴い、葛飾大橋付近に標識を設置。船橋、鎌ヶ谷方面への交通を適切に案内するほか、大型車通行禁止時間帯の市川松戸線への誤進入を防止します。



矢切トンネル

矢切斜面林の下をくぐる矢切トンネル。下の写真は、トンネルの坑口上部に設置される銘板。この「矢切トンネル」の文字は、松戸市長に揮毫いただきました。



松戸市長に、外環開通への思いを語っていただきました

今、松戸市では「もったいない運動」に力を入れています。2月15日は「もったいない日」と定めていますが、平成18年2月15日にケニアのワンガリ・マータイさんが松戸市の小学校でもったいない教室を開いたことからこの日に定めました。

このもったいない運動にはいろいろな活動があります。中でも、地球温暖化対策を地域一丸となって進めるために、平成20年度に「松戸市地球温暖化対策地域推進計画」(松戸市減CO₂大作戦)を策定する予定です。この「減CO₂大作戦」に特に力をいれていきたいと思っています。私は、この「減CO₂大作戦」をとおして、日々の生活中で電気やガス、ガソリンなどの使用量を減らす省エネルギーへの取組みや、3R(リユース、リデュース、リサイクル)を促進することでCO₂の排出量をできるだけ抑制し、一方で、できるだけ市内の緑を増やして大気中のCO₂を吸収していかたいと考えています。

市内の緑を積極的に増やしていくために、「市民の森50万本植樹計画」を提唱しています。その中核となる計画が「減CO₂どんぐり大作戦」です。これは、本市の「人、もの、自然を大切にする」もったいない運動の一環として、地域の子どもたちとともに、どんぐりを苗木から育てるを通して、地球環境資源としての緑に気付き、自然を大切にする心を育むことをねらっています。

外環は別名「みどりの道」と言い、周辺地域の環境をしっかりと考え、緑を意識している計画となっています。実際、松戸の玄関シンボルである矢切斜面林を通過することになりますが、工事によって失われる林を復元する計画になっています。2月20日には、この復元計画の第一歩として、また、50万本植樹の一環として、市民の皆さんによる記念植樹が行われました。

私も参加させてもらいましたが、矢切小学校の生徒さんや小さいお子さんが矢切のどんぐりから育った苗木を植樹するを見て、10年後、20年後、この子どもたちが大きくなったり、これは私たちが植えた木だと誇れるような斜面林に育ってくれよと

感じました。

外環は松戸市にとって非常に大きな意味のある道路です。湾岸地域へのアクセス向上や周辺道路の渋滞緩和など、市民の皆さまの生活環境の改善に大きく寄与することを期待しています。その外環も、3月22日、いよいよ国道6号から南へ延びることになります。取得できている用地を使ってのわずか1kmの暫定的な開通ですが、事業が開始され約40年の時間の中で、地権者の皆さまをはじめとする多くの市民の皆さまのご理解とご協力があってこの開通であることを思うととても重要な開通であることを認識せられます。

一部では、新しく道路が接続されることによって交通量が増えるのではないかと不安視する声もあります。しかし、今回の開通にはクルマがスマーズに流れようになったり、安全な通学路が出来たり、いろいろなメリットがあるのです。

これまで外環は国道6号までというイメージが強かったのですが、今回の開通でついに松戸市内の各地域や生活道路につながり、市民にとって外環がより近い存在になったということに、大きな意味合いがあると思います。

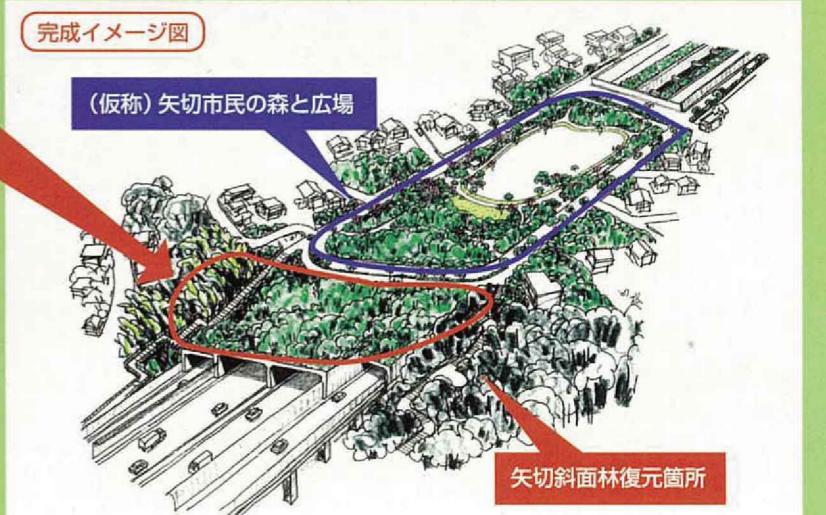
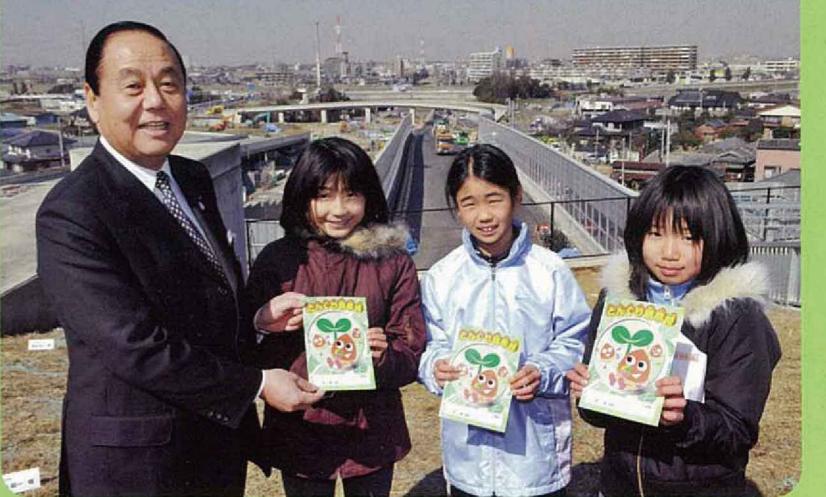
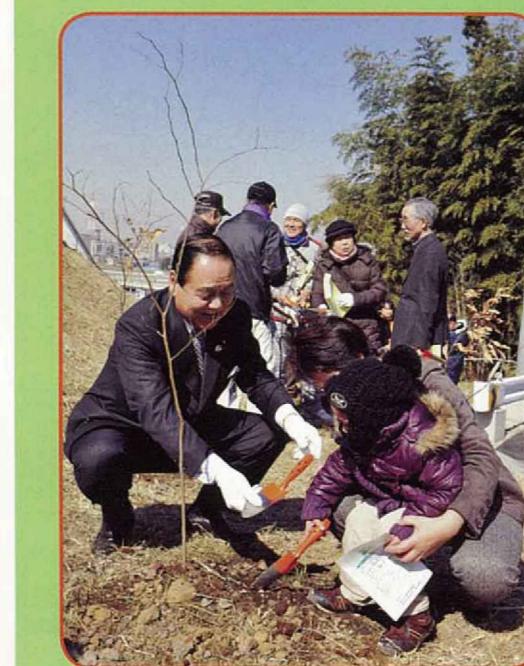
「もったいない」というこの言葉はあらゆるものに通じます。道づくりもそうです。せっかくお金をかけて良いものをつくって、その価値が十二分に発揮できなければ「もったいない」ということになります。一生懸命努力して作ったものはやはりそれだけの価値を発揮してもらいたいと思います。

そのためにも、松戸市としてこれからも出来る限り協力していきたいと思っています。



2月20日、矢切斜面林復元記念植樹が開催されました

現在、矢切斜面林は外環の工事により一部撤去されていますが、この度の一部開通に伴い斜面の一部が整い、そこへ植樹が行われました。



矢切小学校の児童の皆さんも、植樹をお手伝いしてくれました。左から川井市長、副会長の鷲崎透香さん、会長の杉本るいさん、副会長の中内綾乃さん。

完成イメージ図
(仮称)矢切市民の森と広場
矢切斜面林復元箇所

「私たちの未来と松戸市」展を開催します

次世代の松戸市を担う、矢切小学校5年生の皆さんに、自由な発想で未来の松戸市を描いていただきました。62枚にも上る作品を、外環インフォメーションセンター矢切に一挙に展示します。ぜひ、子供たちの力作を見にいらしてください。

■日程 3月25日(火)～約1か月間

■場所 外環インフォメーションセンター矢切（詳細は下記をご参照下さい）



奥山 誠さん



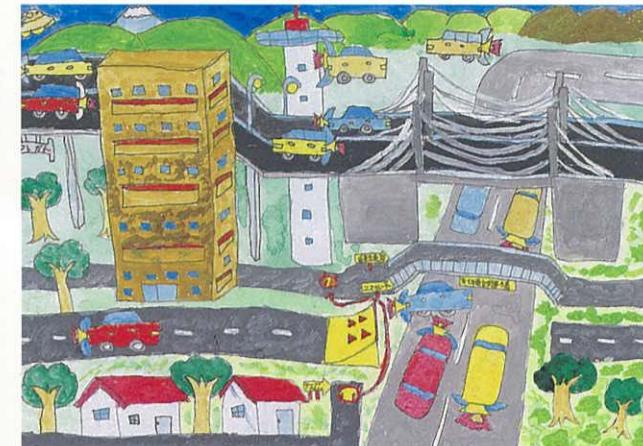
磯部 友里佳さん



大野 将貴さん



鈴木 亜加里さん



堀川 尚輝さん

外環千葉県区間の用地取得進捗状況をお知らせします

国土交通省と東日本高速道路(株)は、外環（千葉県区間）の平成27年度の全線開通に向けて、用地取得を推進しています。

今年度は、これまでの用地取得状況の行き詰まりを受け、地権者の方々に対し協力依頼の手紙を手渡し・郵送する等、交渉を進める努力を積み重ねてきました。その結果、12月末までの9か月間で59件の用地を取得することができました。しかしながら、依然として未取得用地は265件あり、このうち54件については事業反対等により土地・建物調査に協力頂けず、交渉のスタートラインにも立たない状況が続いている。

今後の工事に概ね5年程度必要であることを考慮すると、平成27年度の全線開通のためには、あと1～2年程度で用地取得を完了させる必要がありますが、現状のままではその期間で用地取得を完了することは厳しい状況となっています。

一方で、市川・松戸地域では慢性的な交通渋滞や交通事故の多発などの厳しい生活環境が続いております。また、これまでに用地を提供してくださった多くの地権者の方々や市民の皆様をはじめ、地元行政や市民団体から早期開通への強い期待や要望が引き続き寄せられております。

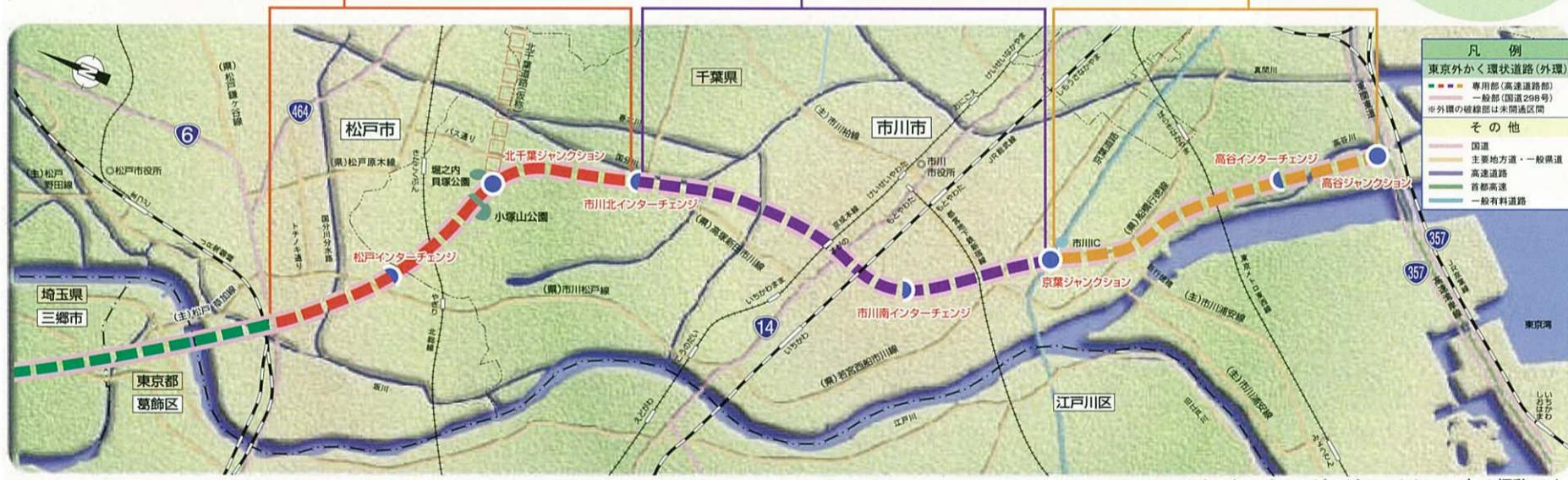
私共いたしましては、平成27年度全線開通に向けて今後も引き続き任意交渉による用地取得に全力を尽くして参ります。また、一部の用地において工事着手までに用地提供のご協力が頂けなかった場合に備えて、任意交渉と並行して事業認定申請に向けた準備を進めて参ります。

地権者の皆様におかれましては、事業進捗に何とぞご理解・ご協力を願い申し上げます。

平成19年12月末現在

用地取得率
約 92%
(面積ベース)

用地の残件数
265 件



外環についてのご相談はこちらまで！

外環相談所

外環の計画、道路の構造、環境対策、用地償償、代替地に関する情報提供など、地域の皆さまのご質問にお答えしています。

毎週月曜日から金曜日および
毎月第2日曜日開設
午前9:00～午後5:00まで。
(年末年始・祝祭日は休みです)
〒272-0824 市川市菅野6-1-9
☎047-323-0999



最寄駅：京成本線菅野駅から
徒歩約8分

外環インフォメーションセンター矢切

外環事業の概要・進捗状況等をお知らせしたり、事業・工事に関する相談窓口として、地域の皆さまのご要望にお答えしています。

毎週月曜日から金曜日および
毎月第2日曜日開設
午前9:00～午後5:00まで。
(年末年始・祝祭日は休みです)
〒271-0095 松戸市中矢切589-15
☎047-363-3452



最寄駅：北総線矢切駅から
徒歩約10分

国土交通省首都国道路事務所

〒271-0072
松戸市竹ヶ花86
☎047-362-4111(代)
<http://www.ktr.mlit.go.jp/syuto/>

東日本高速道路(株)千葉工事事務所

〒261-0014
千葉市美浜区若葉2-9-3
☎043-350-3321(代)